

## 美術科学習指導案

鹿 児 島 県 立 松 陽 高 等 学 校  
平成18年12月14日（木）第5校時  
1年8組（男子8人女子32人計40人）  
指 導 者 教 諭 久 保 孝 彰

### 1 題材名 『先輩に学ぶ』（素描）

### 2 題材設定の理由

本校美術科では、1年から3年まで『素描』を必須科目としている。この科目では基本的な造形表現について学習をするが、学年に応じて、ねらいやテーマを工夫し、段階的により深く造形表現について学んでいけるようにしている。1年次は、初めての素描ということで、素描における基本 姿勢や画材の扱い、モチーフの観察に重点をおいて指導している段階である。2年次では、モチーフの量感や質感、動勢を意識しながら空間表現できるようにしている。3年次では、様々な画材を利用して自分なりの表現方法を見付けていくことと、客観的な観察力をもてるように指導している。素描は、その造形的な諸要素を理解したからといって、すぐに描く技術が高まり、思うように描けるようになるというものではない。やはり、日々の継続的な活動によって描く技術を体得していくほかないのである。しかし、生徒は漠然とそのことを理解はしているが、上達が目に見えないことからあせりや不安を感じている者も多い。また、本学級の生徒は、熱心に観察し、早く思うように描きたいと願っている反面、表面的な観察にとどまり、観察力不足からうまく描けないと考えている生徒もいる。素描は、美術のあらゆる領域の基礎・基本となるので、4人の教師による個に応じた指導を心がけているところである。

本学科では、2月に『デッサンコンクール』という行事が教育活動の一環として設定されている。これは、1年間の本学科の学習の総まとめとして、約1ヶ月間かけて行うものである。生徒にとっては、緊張感を保ち、モチーフと対話しながら自分のもてる力の限界に挑戦できる貴重な学習である。本題材は、学習のまとめであるコンクールを前に、3年生の素描の変遷をたどることで、継続していくことの大切さに気付かせることをねらいの一つとしている。そうすることで、自分の素描の現在のレベルを知るとともに、将来、到達すべきレベルを知る手がかりをもつことになる。このことは、学習到達度には個人差があること、自分のペースで学習を継続していくこと、上達していく具体的な目安を知ることにつながり、あせりや不安を感じている生徒及び熱心に取り組んでいる生徒の両者の学習意欲を高めることになると考える。また、これまでの素描の学習について自分なりに整理する機会にもなると考える。

本題材では、トーンや構図について理解し、豊かな表現力の身に付けさせるというねらいもあるが、IT機器を活用することで、トーンや構図については視覚的に理解できるようにしたいと考えている。さらに、この学習の中で数回、自分自身の作品をデジタルカメラで撮影し、そのデータを保存しておかせるようにしておく。これは、自分の作品をデジタル化して保存しておくことで、いつでも好きなときに、自分自身の制作を振り返ったり、作品の変容や表現がどれだけ向上したかなどを確認できると考えるからである。この作業を生徒自身に行わせることで、制作に対する課題発見力や自己評価力を身に付けさせたいと考える。

### 3 題材の学習目標

- (1) 素描の造形的な諸要素や基本姿勢について理解し、意欲的に制作に取り組もうとする。  
(美術への関心・意欲・態度)
- (2) 3年生の作品の推移を鑑賞することで、造形的な美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自己の表現を構想することができる。  
(芸術的な感受や表現の工夫)
- (3) 自ら課題を設定し、自分で描画材料を工夫して素描に取り組み、創造的な表現ができる。  
(創造的な表現の工夫)
- (4) 完成した作品をお互いに鑑賞し、作品のよさを認め合い、次の制作に生かすことができる。  
(鑑賞の能力)

### 4 題材の評価規準

観 点	評 価 規 準	十分満足できると想定した生徒の状況	努力を要すると判断した生徒への手だて
観点Ⅰ 美術への 関心・意 欲・態度	1 モチーフに対する表現意図をもって、粘り強く取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無言で集中して、石膏像を観察し、制作に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集中できていない生徒や制作が進まない生徒には、具体的に修正箇所のアドバイスをする。</li> </ul>
	2 正しい基本姿勢や道具の扱いで、制作しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イーゼル、カルトンの高さや椅子の位置が適切であり、視線があまり動かない状態である。</li> <li>・ 木炭やガーゼの取り扱いが適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イーゼル、カルトンの適切な位置や座る姿勢の基本姿勢について確認させて、修正する。</li> <li>・ 木炭のはらを使った場合の木炭の状態を見せ、気付かせる。</li> <li>・ ガーゼを使いすぎると、紙の目をつぶしてしまうことに気づかせる。</li> </ul>
観点Ⅱ 芸術的な 感受や表 現の工夫	1 過去の作品から、構図について理解し、好ましい構図を表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品をじっくり観察し、説明にもよく耳を傾けて聴いている。</li> <li>・ 石膏像を画面に適切な大きさで、表現できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構図のポイントについて、再度説明する。</li> <li>・ プロポーションの比率について計り棒で確認させる。</li> <li>・ 適切なトリミングの枠を示して、理解させる。</li> </ul>
	2 エスキースを通して、好ましい構図をトリミングできる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エスキースの段階で、好ましいトリミングができている。</li> </ul>	
観点Ⅲ 創造的な 表現の工 夫	1 木炭やガーゼの扱いで、様々な質感を表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木炭のはらを使って、線や面の表現ができている。</li> <li>・ ガーゼ等を使って、タッチや質感の工夫を積極的にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に描いて、木炭の先端が変化していく様子を見せる。</li> <li>・ 2, 3年生の木炭を見せる。</li> </ul>
観点Ⅳ 鑑賞の 能力	1 作品の推移を鑑賞することで、現在の自分の作品の到達度を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習カードを、利用して、自分の到達度について、記入できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分からないときには、教師の側から客観的な意見を述べる。</li> </ul>
	2 お互いの作品を鑑賞し、よさを認めあえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞カードや素描ファイルを活用して、課題や反省がしっかり記入できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロポーション、質感、量感、動勢といった素描に必要な要素について説明し、その観点から記入させてみる。</li> </ul>

## 5 生徒の実態

平成18年度

### 第1回『素描』に関する調査 集計結果

有効回答数		
1年	2年	3年
40	40	36

1 あなたにとって『素描』は、どのような効果があると考えていますか。

	1年	2年	3年	
① 美術の基礎・基本である。	34	33	25	69%
② 絵画や彫刻などの実技が上達する。	4	4	5	14%
③ 忍耐力が養える。	0	1	2	6%
④ 集中力を高められる。	2	2	4	11%
⑤ 取り組む意味が分からない。	0	0	0	0%
⑥ 何の役にも立たない。	0	0	0	0%

2 あなたは、素描の授業に意欲的（積極的）に取り組んでいますか。

	1年	2年	3年	
① よく取り組んでいる	14	9	12	33%
② どちらかというと取り組んでいる	23	24	19	53%
③ どちらかというとあまり取り組めていない。	3	7	5	14%
④ 取り組んでいない。	0	0	0	0%

2で①、②を回答した人のみ、3の問いに回答してください。

3 2の回答の理由を教えてください。

1年  
 ・描き出すと夢中になる  
 ・何度も修正しながら作成できる  
 ・素描が楽しくて好きだから。集中して取り組んでいると思う  
 ・描き進めていて形が出来ていくのが美しいから  
 ・素描は映像や写真などの関係なさそうな物にも必ず繋がっているから  
 ・素描はとても難しいが、練習をする他に上手くなる方法はないと思うから。  
 ・先生方の指導を一番よく受けられる時間であり、技術を自分のものにする心を心がけているから

2で③、④を回答した人のみ、4の問いに回答してください。

4 2の回答の理由を教えてください。

1年  
 ・素描をあまり楽しいと思えないから ・集中力がもたず、よく眠くなる ・素描が苦手です  
 気が起こらない

5 素描は、複数の先生で授業を展開していますが、どうですか。

	1年	2年	3年	
① いろいろなアドバイスが受けられるのでよい。	37	36	36	100%
② 1人の先生の指導で十分かもしれない。	1	1	0	0%
③ たくさんいると緊張して集中できない。	2	3	0	0%

6 描いている途中で、アドバイスを先生方がされますが、それについてどう考えていますか。

	1年	2年	3年	
① 自分の気がついていない点があると思うので、制作途中で、実際に修正してもらおう方がいい。	19	18	3	8%
② 自分の気がついていない点があると思うので、制作途中で、修正はしなくても口頭でアドバイスしてもらおう方がいい。	18	21	25	69%
③ 自分の気がついていない点があると思うが、自分の力で描きたいので、制作途中で口頭だけのアドバイスでよい。	3	1	8	22%
④ 自分の気がついていない点があると思うが、自分の力で描きたいので、制作終了後にアドバイスしてもらおう方がいい。			0	0%
⑤ 自分の気がついていない点があると思うが、自分の力で描きたいので、何もしな			0	0%

7 授業の進み具合はどうか。

	1年	2年	3年	
① 速すぎる	0	1	0	0%
② 少し速い	16	14	3	8%
③ ちょうどよい	20	22	30	83%
④ 少し遅い	4	2	3	8%
⑤ 遅すぎる	0	1	0	0%

8 あなたが『素描』で気をつけていることは何ですか。2つ選んでください。

		1年	2年	3年			
① 姿勢	①	5	7	8	1年	2年	3年
② 構図	②	19	25	20	②	17	11
③ 構造	③	7	4	4	③	8	7
④ パース(形)	④	9	19	12	④	20	17
⑤ 質感表現	⑤	19	9	12	⑤	14	19
⑥ 量感表現	⑥	7	7	10	⑥	9	12
⑦ トーン	⑦	13	9	6	⑦	7	11
⑧ 何も気をつけてい	⑧	0	0	0	⑧		

回答欄15

9 あなたが『素描』で困っていることは何ですか。2つ選んでください。

		1年	2年	3年
① 木炭(鉛筆)に慣れない	①	5	2	3
② 構図がうまくいかない	②	17	11	6
③ 大きなつかみかたができない	③	8	7	9
④ パース(形)がうまくとれない	④	20	17	11
⑤ 質感がうまくでない	⑤	14	19	17
⑥ 量感がうまくでない	⑥	9	12	11
⑦ トーンがうまくできない	⑦	7	11	11
⑧ 何も困っていない	⑧			

10 あなたは、授業以外でも自主的に素描に取り組んでいますか。

		1年	2年	3年		
① 早朝、放課後によく取り組んでいる	①	9	23%	11	28%	3
② どちらかというに取り組んでいる	②	18	45%	15	38%	19
③ どちらかというあまり取り組めていない。	③	13	33%	11	28%	12
④ 取り組んでいない。	④	0	0%	3	8%	2

10で①、②を回答した人のみ、11の問いに回答してください。

11 10の回答の理由を教えてください。

回答欄18

1年  
 ・これくらいしないと松陽で上位にいけないから ・みんなより上達したいし、素描は美術の基本だから。  
 ・授業だけでは仕上がらないから。自分のペースでじっくり観察するように。少し好きになってきたから。  
 ・私は人より描くペースが遅いので、人より二倍くらい時間をかけないといけないから。  
 ・授業だけの時間では足りないから

10で③、④を回答した人のみ、12の問いに回答してください。

12 10の回答の理由を教えてください。

1年  
 ・電車の時間で、どうしても朝などに時間が作れないから  
 ・部活には最近あまり参加できておらず、家でも描くことはないから  
 ・朝はバスの時間的に無理だし、放課後はなんだかあまり行く気になれない  
 ・JR通学のため時間が無い

上記のように、「素描」に対する実態調査を行った。

質問1や質問3の回答から、素描は、美術の基礎・基本であり、素描で培った表現力が他の実技面での表現力向上にもつながると考えているようである。そして、この2つの質問の回答から分かるように、80%以上の生徒が、積極的に取り組んでいるようである。素描が基礎基本であるということがわかっているため、継続が力になることが理解できている生徒は、授業外でも意欲的に素描に取り組んでいる。一方で質問4に回答した生徒のように、若干ではあるが、素描に消極的であるのは、自分のイメージどおりに素描が描けないということや、友達との比較をするからである。その結果、素描を日常的に描くことが不足するため、苦手意識を持つようである。ただ、質問10や質問11の回答にあるとおり、うまく描けているように見えている生徒は、毎日描いているという点を見落としてはならない。このように、積極的になれない生徒の学習意欲を高めるための1つの方法として、複数の教師による指導を行っている。この指導により、素描に対しての苦手意識のある生徒へ個別に対応することができるため効果があると思われる。実際に質問5や質問6の回答からも、多くの生徒がこの方法であると、アドバイスを複数もらえることから、肯定的であると言える。

また、素描を始める前に気をつけて行った点と出来上がったときの課題点を比較することで、どれだけ克服できているかを比べる質問8や質問9に対しては、特に『構図』に対して気を付けているという回答が多い。

このことから、1年生はまだ画面にモチーフをうまくおさめることができないようであり、描きはじめの段階で、構図の修正を行うよう指導の手だてが必要だと考えられる。

## 6 指導と評価計画（総時間数8時間）

過程	学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
第1次 (導入) 1 本時	題材について理解する。  自分の作品の到達度を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の題材で注意すべきことを知る。</li> <li>過去の作品を見て、自分の作品の到達度を、知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の推移を鑑賞することで、現在の自分の作品の到達度を把握することができる。(美術への関心・意欲・態度)</li> <li>過去の作品から、構図について理解し、好ましい構図を表現できるようになる。(芸術的な感受や表現の工夫)</li> </ul>
第2次 (展開) 6	素描の基本姿勢を確認する。  エスキースをする。  制作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>素描の描き方や姿勢について再確認する。</li> <li>エスキースをしながら構図を考える。</li> <li>観察を、繰り返しながら、描写していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エスキースを通して、好ましい構図をトリミングできるようになる。(芸術的な感受や表現の工夫)</li> <li>正しい基本姿勢や道具の扱いで、制作することができる。(美術への関心・意欲・態度)</li> <li>モチーフに対する表現意図をもって、粘り強く取り組むことができる。(美術への関心・意欲・態度)</li> <li>木炭やガーゼの扱いで、様々な質感表現ができるようになる。(創造的な表現の工夫)</li> </ul>
第3次 (終末) 1	鑑賞する。  まとめ・評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの作品を鑑賞しあう。</li> <li>講評から次の課題を見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの作品を鑑賞し、よさを認めあえる。(鑑賞の能力)</li> </ul>

## 7 本時の実際 ( 1 / 8 )

### (1) 本時の目標

- ア 自分の作品の到達度を理解した上で、目標や構図について再確認し、意欲的に制作しようとする。(美術への関心・意欲・態度)
- イ 基本姿勢を確認して、観察を繰り返しながら、エスキースを行い、適切な構図のトリミングができる。(芸術的な感受や表現の工夫)

### (2) 準備

教師：素描ファイル、パソコン、プロジェクター

生徒：筆記用具、素描用具、学習プリント

### (3) 授業の展開

過程	時間	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準・方法
導入	17分	1 本時の学習目標と学習活動内容を知る。 2 3年生の作品をプロジェクターで鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターを使用して説明する。</li> <li>3年生の1年から現在までの作品の移り変わりを見せる。</li> <li>素描がどのあたりで劇的に変化するか気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察法</li> </ul> 参考作品から、自分の作品の到達度を理解することができたか。
展開	30分	3 素描の基本姿勢と描き方を確認する。 4 今回の素描について、課題を記入する。 5 素描室に移動して、制作を始める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターで、素描の進め方の1例を紹介する。</li> <li>用紙を配布し、今回の素描についての課題を記入する。</li> <li>素描室へ移動する</li> <li>道具を準備して、制作を始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察法</li> </ul> 素描の表現に関する要素について理解できたか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>カード記入</li> </ul> 自分の制作に対する課題をしっかりとつことができたか。
まとめ	3分	6 本時のまとめを聞く。 次時の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告をした際、生徒の意欲が持続するような言葉をかける。</li> </ul>	

### (4) 評価

- ア 自分の作品の到達度を理解した上で、目標や構図について再確認をし、意欲的に制作することができたか。(美術への関心・意欲・態度)
- イ 基本姿勢を確認して、観察を繰り返しながら、エスキースを行い、適切な構図のトリミングができたか。(芸術的な感受や表現の工夫)